

たった一つの生命の星で、これからもずっと生きていくために。

「地球一個分」で暮らそう！

出発点は「あたりまえの願い」

自分や家族や友人のために、少しでも暮らしをよくしたい。それは誰もが持つ、あたりまえの願いです。ただ、その結果、人間はより多くの資源を使い、より広い面積の自然を開発するようになりました。

さらに、世界的に人口が増えていることや、徒歩や馬で行ける範囲だった経済活動が、車や飛行機で動ける範囲まで広がっていること…。人間が自然を利用する割合が増えている原因は、いくらでも挙げることができます。

しかし一方で、地球の大きさは同じまま。地球が持つ「生産力」、たとえば、木々が育ったり、草が生えたり、魚が育ったり、大気中に放出された二酸化炭素 (CO₂) を吸収したりする力は、基本的には大きく変わりません。そのため、1970 年ごろから、増え続ける人類の「消費」が、徐々に地球の「生産」力を上回るようになってきました。

皆の工夫で「地球一個分」に

WWF は、さまざまなデータに基づいて、人類の「消費」が地球の生産力の 1.5 倍に達していると試算しています。つまり、地球 1 個では足りなくなっているのです。これは、未来の世代の人々のために残しておくべき資源まで、使ってしまったことに他なりません。とはいえ、自然が産み出す資源を、まったく使わずに生きていくことも不可能です。

大切なのは、地球の生産力を上回らない範囲に、人間の消費が収まるようにすることです。魚を獲りすぎないようにルールを決めたり、自然エネルギーへの切り替えを進めるといった「大きな取り組み」はもちろん、ごみを減らしたり、省エネルギーを徹底するなど、「誰もができる取り組み」も欠かせません。

さまざまな工夫によって「地球一個分の暮らし」を実現すること。それは、今を生きる私たちに託された大きなチャレンジなのです。



地球が2つ必要です。

私たちが今の暮らしを続けると、
2030年には、地球2つ分の資源が必要になると言われています。
1つしかない地球の資源でまかなえず、地球にちょうだい暮らし、
One Planet Lifestyle.
WWFと一緒に、はじめませんか。

人と自然の未来を守る。
WWFにご協力ください。
WWFジャパン（公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン）
Tel: 03-3769-1711

ACジャパンは、この活動を支援しています

公益財団法人 ACジャパンは全国約1,000を超える民間の企業と団体が
ひとつになって、広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。

- ▶ 2014年8月から2015年7月にかけて、WWFは、テレビやラジオなどで「地球が2つ必要です」という広告を流し、「地球一個分で暮らそう」と呼びかけてきました。これはAC（公共広告機構）の支援を受けて実現したものです。

WWF ジャパン（公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン）

〒105-0014 東京都港区芝 3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6F
TEL:03-3769-1714（広報室：平日 10:00～17:30）FAX:03-3769-1717
E-mail:communi@wwf.or.jp



私たちはWWFです
人と自然が調和して生きられる未来をめざして、地球環境の悪化をくい止めるさまざまな活動を実践しています。

www.wwf.or.jp